

令和5年第8回真庭市教育委員会会議録

会議種類	定例会	
開催年月日	令和5年7月26日(水)	
開会及び閉会時刻	開会時刻	09:30
	閉会時刻	11:35
場所	真庭市本庁舎3階 教育委員室	
会議録署名者	教育長 三ツ 宗宏	
	署名委員 高谷 絵里香	
会議録作成者	教育総務課 上級主事 美甘 仁美	

1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ツ 宗 宏	
教育長職務代理者	常 本 直 史	
委 員	徳 山 周 一	
委 員	高 谷 絵里香	
委 員	和 田 ひろみ	

2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	武 村 良 江	
教育総務課長	浅 野 晃 彦	
学校給食推進室長	丸 山 昭 良	
学校教育課長	秋 元 紀 幸	
生涯学習課課長	谷 岡 理 江	
図書館振興室長	佐 藤 弘 敏	
学校教育課 参事	松 岡 徹	
教育総務課上級主事	美 甘 仁 美	

3 傍聴人

5人

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	高谷委員
第 3	教育長諸報告	武村教育次長
第 4	付議事件	
	議案第 30 号 真庭市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案可決
第 5	協議事項	
	令和 6 年度使用小学校教科用図書の採択について	
第 6	その他	
第 7	閉 会	

5 議事の概要

(09時30分 開会)

○三ツ教育長

これから第8回教育委員会会議を開催いたします。

冒頭に、今日は傍聴の方がいらっしゃっています。傍聴の許可をとらせていただこうと思いますが、委員の皆さんからご意見ございますか。よろしいですか。では、よろしくお願いします。

傍聴の方に最初をお願いをいたします。静謐な環境の中で、教育委員会会議を開催するという点で、その点のご配慮をよろしくお願いいたします。それから今日は教科書の1種選定についての協議を行わせていただくのですが、この公開自体が9月1日以降になりますので、録音等はお控えいただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、以下議事日程に従い進めてまいります。日程第1教育長あいさつです。

学校の方は1学期が無事に終わりました、子どもたちもまだ若干学校での教育活動でありますとか部活動等を行っていますけれども、夏休みに突入したという状況です。

それと同時に、各地域での子どもたちの体験活動を支える様々な取り組みが行われています。1件だけご紹介させていただきます。先日、檜邑というところに「かしっ子」という放課後児童クラブがあるのですが、そこが5周年を迎えたということで、記念行事に出席してきました。ここは、皆さんご存知のように小規模学校で、在籍児童は7人という学校なのですけれども、その5周年記念行事には約80の方が集まっておられました。当該校の児童はもちろん卒業した中学生、その「かしっ子」という放課後児童クラブには他の地域からも児童が来ていますから、その関係者や保護者等がいらっしゃっていました。

その日は学校を見学させてもらったのですが、中で子どもたちが撮った地域の写真展が開催されていました。そこには地域の方々も出入りしながら地域と

学校が交流を深めており、確かに学校というのは学校教育機関で、そのための施設だということが一番なのですけれども、「地域と繋がって子どもたちが豊かな暮らしをしていく。あるいは地域の方々が学校に関わってイキイキとしていく。あるいは面白い活動を生み出す。」そんな大きな力があるのだなということに改めて感じてきました。真庭も本当に小規模点在の学校が多いですけれども、その可能性というのは、一方では大事にしていかなければいけないことだなと感じました。その日は午前中に式典があって、午後からは、PTA とかしっ子と合同で川遊びをやっていました。「自然の中で子どもたちが体験し、試行錯誤をする。そして、そんな様子を大人が温かい目で見守っている。」そのような情景に温かいなという気持ちを持って帰ってきました。

ここでの議論は学校教育のことが多くなりますが、これから真庭の地域がどうであればいいのか、その中で子どもたちは今の幸せをどうやって作っていくのかということに大事にしながら議論を重ねていけたらいいなと思っております。

今後ともよろしく申し上げます。

続いて、日程第 2 署名委員の指名ですが、今日は高谷委員さん申し上げます。

○高谷委員

はい。

○三ツ教育長

続いて日程第 3 教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○武村教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

諸報告をさせていただきました。委員の皆さんからご質問ご意見ありますで

しょうか。よろしいですか。

それでは、続いて日程第4付議事件です。議案第30号 真庭市文化財保護審議会委員の委嘱について、事務局よりお願いします。

○谷岡生涯学習課長

(資料により説明)

○三ツ教育長

ただいま説明がありました。この委員会で報告あるいは諮問して答申を受けた内容ではありますが、委員の皆さんから何かご質問ご意見等ありますか。よろしいですか。

それではお諮りをいたします。議案第30号 真庭市文化財保護審議会委員の委嘱について、ご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは、異議なしということで、原案可決でお願いします。

付議事件は以上です。続いて日程第5協議事項です。

令和6年度使用小学校教科用図書の採択について協議を行っていきたくと思います。今年度は6年度から使用する小学校教科用図書の採択年度となっています。これから教科書選定委員会等の調査研究報告を受けて、真庭市の1種選定のための協議をしていきたくと思います。改めて申し上げるまでもありませんけれども、この採択の権限は真庭市教育委員会にあります。そうした観点で評価・研究というか検討もしていただいておりますので、今日は実際に教科書を見られたことを踏まえて、ご意見を出していただいて1種選定を進めていけたらと思います。まず事務局より経過報告そして本日の内容について説明

をいたします。

○学校教育課 松岡参事

失礼します。教科書採択の事務局をしております、教育委員会学校教育課の松岡と申します。本日はよろしく申し上げます。それではこれまでの経過と採択について、お話をさせていただきます。

これまでの経過は要項に書いてあるとおりです。本日は時間の都合上、資料に沿って簡単に今後の採択についてお話をさせていただきたいと思います。まず資料 P2 をご覧ください。今年度は、令和 6 年度から使用する小学校全種目の教科書採択の年で、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に従って、8 月 31 日までに採択事務を完了しなければなりません。資料 P2 の《採択権限》にありますように、採択の権限は、公立学校にあつては「地方教育行政の組織および運営に関する法律 23 条の 6」により、所管の市町村教育委員会に採択権があります。

また、「義務教育諸学校の教科用図書の無償給与に関する法律第 12 条」により共同採択が定められています。資料 P3 の《共同採択》についてご覧ください。そこに書かれてあるように、それぞれの種目ごとに地域内で協議し、同一の教科書を採択しなければならなくなっています。

県内には 8 つの採択地区があり、その 1 つが津山地区教科用図書採択市町村教育委員会協議会で、10 の市町村で構成されています。続いて資料 P5 《採択の仕組み》をご覧ください。10 の教育委員会で構成される津山地区教科用図書採択市町村教育委員会協議会が協議をし、それぞれの種目で 1 種の教科書を選定するのですが、採択協議会は選定について意見を聞くために、校長先生を中心とした選定委員会を組織します。なお、より開かれた採択とするために、選定委員会には保護者の方にも加わっていただいています。選定委員会の下には、教員からなる研究委員会を組織しています。研究委員会は、全教科書について調査研究し、報告書を選定委員会に提出します。選定委員会はその報告を受けて、さらに広い立場で調査研究を行い、報告書を採択協議会に提出します。採

採択協議会では報告書を基に1種選定に向けての協議を行った後、一度それぞれの市町村に持ち帰ります。それが本日の会となります。

その後、市町村教育委員会で協議を行い、その結果を再度採択協議会に持ち帰ります。それが8月2日になります。持ち寄った結果をもとに、最後に市町村教育委員会で1種採択し、令和6年度から使用する教科書が決まっていくという流れになっております。次回教育委員会が8月24日に予定されていると思いますので、その際に採択して頂くことになりますのでよろしくお願いいたします。

次に、経過についてですが、5月10日の第1回採択協議会を受けて教員代表による研究委員会が3回出され、調査研究がなされております。また、校長先生やPTA代表による選定委員会も2回開かれました。その研究成果が、お手元にお届けをしている教科書研究報告書、研究資料になります。先ほどお配りさせていただいた冊子です。

こちらについては、文部科学省が出している教科書編集趣意書、それから岡山県教育委員会が作成した研究資料、教科書展示会場での意向書、そしてこちらの教科書見本、これらを基に研究委員会選定委員会の研究結果を踏まえ、作成されております。その教科書研究報告書が、先日7月7日の第2回採択協議会で報告として協議をされております。本日はその教科書研究資料を説明させていただき、その後ご協議いただきます。1種選定のための協議について、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○三ツ教育長

ただ今、事務局から説明がありましたが、ここまでの説明で何かご質問ご意見ありますでしょうか。よろしいですか。

補足ですが、今説明のあった共同採択についてですが、ここであれば美作地区がいわゆる地域の自然的、あるいは経済的、あるいは歴史的、そういった背景が諸条件が近いということで、同一の教科書を採択していこうということで共同採択という仕組みになっております。その上で、今日は1種選定の協議を

真庭市教育委員会の権限がありますので、行っていくという形であります。それではこれから1種選定のための協議に移りますが、教科書研究資料の説明を事務局からお願いいたします。

【国語】

○学校教育課 松岡参事

それでは、これから説明を進めさせていただきたいと思います。それぞれ教科それから種目がありますが、1教科種目ずつですね、選定をお願いしたいと思いますので、それぞれ切りながら説明→採択という流れで進めさせていただけたらというふうに思っていますのでよろしくお願いいたします。

さらに報告書についてですが、全て読み上げるわけにはいきませんので、時間の都合上選定委員が記述した総評をもとに説明をさせていただこうと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、まず国語についてです。国語については3社3種あります。

まず、東京書籍についてですけれども、東京書籍につきましてはそれぞれの単元でつけたい力や学習の流れがはっきり示されており、また単元の最初に、見開き1ページを使い、イラストや写真を掲載し、教材との出会いをより印象的なものにするなど全ての児童が見通しを持ち、主体的に学習する力を高めることができる教科書となっていると考えております。

続いて教育出版です。各単元で何を学ぶかという学習のポイントが示されています。「ここが大事」という項目で教科書の中に配置されており、その項目で非常にわかりやすく明示をされているということです。

続きまして光村図書です。各単元の学習の手引きのページがあり、そちらでは学習課題や学びの見通しが整理して示されています。また「問いを持とう」と最初に投げかけることにより、子ども自身が課題意識を持って学習に取り組むことができる工夫がされています。

以上、国語は3種になりますが、その中で特に優れているとされているのが、

東京書籍になります。教材との出会いを大切にしており、児童の関心意欲を高める効果が期待されるというふうに考えております。国語については以上です。

○三ツ教育長

それではただいまの説明について何かお尋ねがありますか。よろしいですか。では1種選定に向けた協議に入ります。委員の皆さんご意見をお願いします。

○徳山委員

読ませていただきましたが、光村も東書も、どちらも本当に学び方を大切にされた構成であったなと思います。

そして、やや東書の方が説明が細かかったのかなと思いました。それからもう1つ、東書はデジタルの部分もすごく工夫されていて良かったなというふうに思いました。ただ、東書は少し細かいことがありすぎて、かえって見づらい面もあるのかなと、情報量が多すぎるような感じがしました。

それに比べて光村は、デジタルコンテンツはちょっと弱いところかなとは思いましたが、内容がとても洗練されたものになっているのではないかなと思いました。私は、話し方、話すことについての教材・学習材、短歌や俳句についてもすごく工夫されているなというふうに捉えました。

どちらも素晴らしいと思うのですが、個人的な好みで言うと、光村が好きです。

○高谷委員

私は専門的な知識が無いので、印象からの意見になってしまうのですが、結論としては私も徳山委員と同じで、光村さんのものがすごく見やすいと思いました。私個人は、低学年に関してはあまり2社の違いを感じなかったのですが、高学年の教科書になると、東書さんのものは参考書のような印象を受けて、子どもたちが実際に使うときにどうなのかなというふうに感じました。それから、光村さんの方は、自然と多様なお友達というようなことが書かれていて、私個

人としてはとても印象が良かったです。

○和田委員

失礼します。私も保護者の意見という形でお話させていただきたいと思いますが、光村さんの方が、書字の書き方がはっきりと明確に集中できる形で構成されているというふうに感じました。

また、学習障害のある子どもたちには、徳山委員もおっしゃっていましたが、情報量が多くなると本当に必要な部分がどこなのかわかりにくくなるのではないかと思います。素人目ですけれどもそういうふうに感じましたので、光村さんの方が私はいいかなというふうに感じました。以上です。

○常本委員

私は最初に、この教科に限らず全ての教科書について、どのような観点で見てもよいかと考えてみました。今、高校生を見ていて昔より力が落ちてきているなと感じるのが語彙力です。ですから、「言葉の力」というワードが出てきたけれども、語彙力を身につけさせるには、やはり小学校・中学校できちんと年齢に応じて必要な知識を身につけていくことが大事なのだと思います。

それから、社会に出てからどのような力が必要になるかなと考えてみた中で、企業であればやはりデジタル化が進んでいるという状況下で、「データを取る。データを読み取る。データを活用する。」というような力が必要になってくるのかなと思いました。また、今学校（小中高どこも）で、地域と繋がった教育活動を行っており、それはどういった力をつけさせるためかと言うと、やはり「論理的な思考力」であるとか、「批判的な思考力」等、そういったものを身につけさせていくねらいが根底にあるのかなと思います。以上の観点で、教科書を見てもみました。どこの教科書も一長一短あり、教師によって使い勝手に差はあると思いますが、最近の教科書はデータコンテンツがとても充実してきているなと感じました。

今国語で話題になっているのは、高等学校で言えば評論のところですか。評論

の力が弱いかなと思います。また、教師もその辺の指導が苦手なところなのだと思います。これは文学というものについて、やはりもう少し掘り下げて学習するということが必要なのかなと思っています。ですから、小学校の時に付ける力がやはり基礎になってきますので、それらをうまく教えやすい教科書があったらいいかなと思っています。個人の好みで言えば光村が好きですが、東書もすごく良いので迷いました。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。委員の皆さんの意向は大体近い感じではあるのですが、最初申し上げたことにも関わりますが、僕も実は今常本委員さんがおっしゃったような観点で教科書を見ました。この真庭地域も含めてですが、美作地域の特徴はどこにあるのか。

1つは人口減少していく中で、これからの持続であるとか、それから県下全体を見回しても、SDGs 未来都市として真庭市や西粟倉村があり、それぞれの地域で未来がどうあればいいのかということを探している状況だと思います。その中で豊かに生きていくということになれば、やはり学びを楽しむとか、これから生きていく上での課題を発見するとか、そういう力を子どもたちに培っていかねばいけないのだろうなというのが1つ前提として思います。

そして、子どもの状態として考えられるのは、全体で言えば先ほど常本委員がおっしゃったような語彙力とか言葉の力というのが、管内として少し弱いところはあるかなと思いますし、それをまた言語化して表現する力というのも弱いかなと思います。こういった課題にもやはり応えていかねばならないと同時に、今、教職員の状態を見渡すと50%ぐらいが教職経験5年以内というような状況になっています。そういった中でどういった学びを作っていくのか、そういったことも色々考えながら教科書を見ました。

重ねて、各学校で今どういう教育活動を大事にしているかという、多くの地域で、ふるさと学習というような形の探究的な学習に取り組んでいます。ということになれば、やはり教科と生活との繋がりであるとか、教科書の内容・

教科の横断の視点であるとか、そういったことを見ていかなければいけないのかなと思っているところです。どこがいいのかという話になると、なかなか決めるのが難しいところではありますが、教材が持つ魅力、作品を持つ教育力というようなことを考えたときには、光村の教科書は魅力的だなというふうに思いました。同時に、子どもたちに基礎基本の継続的な学びを積み上げていくという意味では、東書の教科書が魅力的だなと思います。それから自分から新しい課題に挑戦しようという観点でも、優れているのかなと思いました。

ですが、もう皆さんの意見が大体一致をしているようなので、1種選定国語科について、真庭市教育委員会としては、光村の教科書ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いてお願いします。

【書写】

○学校教育課 松岡参事

それでは続きまして、書写になります。書写については3社になります。

まず東京書籍についてですけれども、話し合い活動で二次元コードを読み込むと、それで筆跡を自分で動かせる動画が表示され、主体的に考え発表できるような工夫がされており、それをもとに子どもたちが話し合う活動ができるということです。

それから教育出版ですけれども、教材の数が多く、いろいろな文字を学習する機会が保障されているということです。

続いて光村です。光村につきましては、筆順の色分け、それから毛筆の穂先

の動きや力の入れ方を色や数字でわかりやすく表記するなど、基本的な技能を育成することができることです。

書写につきましては、3種から特に優れているとされているのが光村です。先ほどの説明に加えて、各学年とも幅広い教材を取り上げていて、書写学習を日常生活で活用できるような工夫があり、主体的に学習に取り組むことができる教科書であるというふうに考えております。以上です。

○三ツ教育長

はい、説明がありました何かお尋ねがありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

どれも本当にいいなと思いました。目当てを持って学習をしていくというやり方を、書写でもされてるところも素晴らしいなと思いました。

それから、やや光村の方が目当てを使いやすい内容の構成になっていたのかなという気がしました。今言ったように本当にどれも良いと思いますが、どちらかといえば私は目当ての掴ませ方という点で、光村がよかったかなというふうに思いました。以上です。

○三ツ教育長

はい。その他の委員さん。いかがでしょうか。よろしいですか。

先ほどの説明にもありましたけれども、私自身も課題のつかみやすさという点以外にも、日常生活との結びつきとか、社会課題との結び付きというような点でも学びが広がりやすいのかなという印象を光村の教科書で持ちました。

それではこれについてお諮りしてよろしいですか。それでは書写については真庭市教育委員会としては、光村の選定ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【社会】

○学校教育課 松岡参事

続きまして社会になります。社会につきましても、3社になります。

まず東京書籍についてです。問題解決型の学習を学びの中心に据えるよう編集をされています。また関連資料への誘導もスムーズで非常に使用しやすくなっております。

続いて教育出版ですけれども、選択課題が複数用意されており、子どもたちの興味関心に沿って学びが深まるように工夫をされています。

続いて日本文教出版です。ここでは特に第4学年の教科書にですけれども、岡山県の内容、それから暮らし、産業、伝統文化などが取り入れられており、興味関心はもちろん学習が深まることが期待されております。こちらについては、真庭市についても取り上げてあります。

以上社会は3種ですけれども、こちらから特に優れているとされたのは、日本文教出版です。先ほど説明した通りではありますけれども、岡山県が非常に多く取り上げられており、児童が興味関心を持って学習に取り組むことができるというふうに考えております。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○常本委員

たくさん岡山県のことに取り上げられてましたけれども、個人的にはそれを採択することがいいことなのだろうかと思いました。岡山県のことであれば、我々で作ることもできるのではないかと感じもしました。だからこそ、他県のことが出てくる方がいいのかなと単純に思いました。

それから同じ岡山県でも私が住んでいる市については全然出てこないのも、特徴がない市なのかなと改めてそこに住んでる者としては感じながら読ませてもらいました。ですので、個人的には東書がいいかなと思いました。

○徳山委員

東書も日文もどちらもよかったなと思います。

特に東書は探究的な学習の学びに繋がるように本当に構成を工夫されていますし、それからデジタルコンテンツもうまく活用できるようにしてあるなという印象を受けました。

一方で、日文の6年生の教科書には「磯田さんの手紙」というのがあって面白いなと思いました。また、縄文時代の捉え方が最近変わってきてるというふうに言われていますが、日文はその辺のことも考えた内容になっていたなというふうに思いました。

どちらかといえばですが、私は日文の方が好みます。これも最初の国語科の選定と同じ理由です。見た目がはっきりと見やすいと感じたからです。東書は、おそらく現場の意見を大事にして教科書を作られたのだと思いますが、少し情報が過多になっていて子どもたちが見にくいのではないかなというふうに感じました。以上です。

○高谷委員

私も読んだ時のメモを残してきたのですが、日文さんのほうがこの総評にも書かれていますが視覚的に資料がとても見やすかったという印象が残っています。本当にどちらもすごくよくできていて、私は一番社会の教科書をど

ちらも気がついたら時間がたつぐらい読んでいたのですけれども、本当に単純な自分の印象ですが、見やすかったのは日文さんでした。以上です。

○三ツ教育長

和田委員はいかがですか。同じご意見ですか。

○和田委員

はい。

○三ツ教育長

私も色々思いながら見たのですが、SDGs について考えながら日常の生活で学ぶという点や、あるいは問題を発見したり、目当てを明確に持ったりという点では、日文の教科書が扱いやすいかなという印象を持ちました。

委員の皆さん意見が少し割れましたが、いかがでしょうか。1種を選定することなのですが、日文という意見が多かったのも、それでよろしいでしょうか。

それではこれについてお諮りをします。社会については真庭市教育委員会としては、日文の選定ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【地図】

○学校教育課 松岡参事

続きまして地図になります。地図につきましては2社になります。

まず東京書籍についてです。非常に情報量が豊富であるということが東京書籍の地図の特徴になるかなというふうに思います。

それから、帝国書院です。帝国書院につきましては、地図の基礎基本について、たくさんのページを割いて解説をしてあるとともに、それに続く広く見渡す地図では、今度は情報量を絞った構成になっていて、地図入門期の3年生にとっての手立てが非常に手厚いのではないかということです。

地図につきましては2種から特に優れているとされたのは、帝国書院です。先にも述べた通り、第3学年での地図学習への導入期への配慮が優れているということです。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○高谷委員

私も帝国さんの地図がすごくよくできているなと思いました。他の教科に関しては、正直に申し上げて「絶対にこっち」というのはあまりなかったのですが、地図に関しては、私は圧倒的に帝国さんのものが使い安そうだなというふうに思いました。縮尺の違う3パターンの地図があるというのがとても使いやすそうだなと思いました。以上です。

○徳山委員

私も両方良かったと思います。どちらもデジタルコンテンツが本当に充実していたのですが、土地の利用、市町村、交通、産業等を比べて見られるというのが帝国書院にはあったと思うので、そこはすごく役に立つなというふうに思

いました。

せっかくのデジタルコンテンツなので、タブレットで使えるコンテンツを増やしてもらえたら、さらにいい教科書になるなと思いました。以上です。

○三ツ教育長

その他の委員の皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それではこれについてお諮りをします。地図については真庭市教育委員会としては、帝国書院の選定ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【算数】

○学校教育課 松岡参事

それでは続いて算数になります。算数は6社になります。

まず東京書籍からですが、東京書籍につきましては、ユニバーサルデザインの観点から、見やすさやわかりやすさに配慮しており、問題も精選してあることから、児童それから指導者ともに活用しやすい教科書であるということです。

続きまして大日本図書についてです。巻頭にひらめきアイテムがあり、学習で得た考え方を記録できるようになっています。さらに巻末にはプラスワンという項目があり、自分で採点をしながら問題を解くことができるということです。

続いて学校図書ですが、単元の初めに「はてなを発見」という項目が設けら

れており、児童に課題意識を持たせる工夫がされているということです。

続きまして、教育出版ですが、教育出版につきましては、教科書の構成が子どもの問いの連続となっており、目当て・まとめ・発展と、数学的な活動がしやすくなっています。

続きまして啓林館ですが、児童の多様な考えが引き出されるよう、自分の考えをまとめ説明したり、話し合ったりする活動が多く設定されています。

続きまして、日本文教出版ですが、2年生以上の巻末に、算数マイトライというものがあり、そこで「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」といった3段階の問題が設定してあり、個に応じた学習ができるように工夫をされているということです。

算数について特に優れているとされたのは、東京書籍になります。先ほども説明をさせていただきましたが、問題が精選をされており、津山地区の児童の実態に合っているのではないかと思います。さらにデジタルコンテンツが充実しており、その内容の個別最適な学びに適しているということです。

《デジタルコンテンツ事例紹介》プロジェクターで映して説明

○学校教育課 松岡参事

今映っているのが東京書籍のデジタルコンテンツです。こういった形で子どもたちが自分で学んでいけるということです。例えば、このように入力していくことができます。答え合わせをしますが、間違えてしまった時、このように「教えて」という形で、問題の解き方を説明をしてくれます。こちらは授業の中だけではなく、家庭学習等でも活用できたり、それからこちらの方に実際に書くこともできますので、ここで補助的な計算をしたりすることができます。このように指で書いたりすることもできます。そういった機能がついているということで簡単ですが紹介です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員

の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

どれも探究的な学び方や数学的な思考力を大切にしている教科書だったなというふうに思います。私は先ほど説明のあった東書のデジタルコンテンツがすごくいいなと思いました。学校だけでなく家にも帰っても利用できるということで、これが意欲的な学習に繋がるのではないかなというふうに思いました。

それから、教育出版もすごく子どもの思考を大切にした学習の流れだなというふうに思ったのですが、少しこれは、指導者が勉強というか、前もってしっかり研究して、授業案を考えていかなければいけないのかなというような気がしました。指導者の技術によって差がでるかなというふうな気がしました。

算数以外の教科については、東書が複雑とってききましたが、算数については、こっちの方がすっきりしていたという気がしますので、私は東書がいいなと思いました。

○常本委員

算数だけではないのですが、教科書がすごく充実しているなという印象があります。これは授業との関係からすると、予習が中心の授業になってくるのか、復習的な授業になるのか、どういう流れになるのかによって用途が変わるのかなと思います。例えば、新しい単元に入る時、内容を初めて学校で知るのか、前もって自分が勉強しておいて、学校で気づいて発見するという状態の授業になるのか、そしてそこで理解したものを定着させるために演習をやるというふうな流れなのか、授業の位置づけによって、教科書の使い方が変わってくるのかなというふうに感じます。

特に算数は事前に読んでわかっておけば、授業で復習ができるのかなと思って見させてもらいました。悩みますが、個人的には東京書籍かなというふうに思いました。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。その他の委員の皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

難しいですね。子どもの実態やこの地域のことも考えながら選んでいかなければいけないですし、意味理解が弱かったり、算数的な活動がなかなかできなかったりというようなことの実態を考えると、そういったコンテンツ内容というのは、東書の教科書が充実しているのかなと思いました。

やはり教えるという部分も大事ですし、その扱いやすさという部分も大事です。一方で、自ら学ぶ力を育むというときに、そこをどう位置付けていくのか。そこはもっと遊びの部分があってもいいのかなというような思いはあるのですが、扱いやすさ・授業のしやすさ・丁寧さ等を考えたときに、東書の教科書がいいのかなと思いました。他の意見がなかったので、算数については真庭市教育委員会としては、東書の選定ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【理科】

○学校教育課 松岡参事

続きまして理科になります。理科につきましては6社になります。

まず東京書籍についてですが、単元導入に「レッツトライ」というものが配置されており、それから単元末の「広げよう理科の発想」等、児童の興味関心を引き出し、主体的な学びを生み出す内容が充実しています。

続きまして、大日本図書ですけれども、思考力を育成するために、観察や実験結果の考察の際に重視すべき視点として「ここに注目」というものが示されており、そこが工夫をされている点であるということです。

続きまして、学校図書ですけれども、単元ごとに身につけたい力が各学年に応じてレベルアップするキャラクターで示されています。自己評価をする欄を設けたりすることで、自分の伸びを実感しつつ、学習の意欲づけが期待できる教科書となっています。

続いて教育出版ですが、学習の前後での自分の考えの変化に気づくことができる場面が、単元内に設けられている工夫がなされており、

続きまして信州教育出版社につきましては、見本がありませんでしたので研究ができませんでした。

続きまして、啓林館についてです。基礎基本的事項の定着を図るために、単元の導入場面で「思い出そう」というものが配置されており、それから単元末にはまとめノートが掲載され、学習の確認できるようになっているということです。

以上、6社6種になりますけれども、特に優れているとされていたのは、東京書籍になります。この協議の中では、理科離れを食い止めるというところが大きな話し合いの柱になっており、児童の主体を促す工夫があるという点で東京書籍が優れているとされており、以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

言葉のことなのですが、「目当て、学習課題、問い、問題」これが教科によっても教科書会社によっても色々使われていて、多分それぞれの会社で使い方の決まりがあるのですが、ちょっと教科書が変わると、そこがごちゃごちゃ

になってしまうので、子どもはどう捉えるのかなというのを心配しながら見ました。理科は特にそこが大事だと思うので、「目当てなのか、学習課題なのか、問いなのか、問題なのか」そこら辺を明確にして「この目当てはこういうことだよ、この学習課題はこういうことだよ、問いはこういうことだよ、問題はこうだよ」ときちんとかかるようにしてあげないと、子どもはどう捉えるのかなと少し心配しました。理科はその辺がとても大切なので、東書にしても、啓林館にしてもそれぞれの出版社のやり方で書かれているなという気がしました。

私はどれもいいなと思いましたが、東書の動画コンテンツがすごくいい反面重いので、いっぺんに見たときにどうなんだろうなと思いました。何人まで真庭の小学校では使えるかなと思いつながら見ました。

それから東書にしても啓林館にしても、探究的な学習にももちろんなっているし単元コースも素晴らしいなと思いましたが、やや啓林館の方が目当てが子ども供に近い目当てになっているように感じました。ただ、どちらが良いというのは本当に難しく、どちらも一長一短あるなと思いました。

東書の方は大判で、啓林館と比べるとすごく視覚的に見やすいなと思えました。どちらかに決めなければならないのであれば、私は東書かなと思います。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。その他の委員の皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

私も考えてみましたが結局、どの教科書を見ても教科での学びと日常とをどう繋いでいくのかということですか、探求のプロセスというのは、大事にされているなというのを感じました。具体でいうと、さっきの単元導入あたりで「レッツトライ」という形で子どもたちの活動を促すような書き方をしているので、おそらく東書の教科書も、こどもが自分から学んでいこうということを進めていく上では、使い良いのだろうなということを感じました。

それでは特段の意見がないようですので、理科については真庭市教育委員会としては、東書の選定ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【生活】

○学校教育課 松岡参事

はい、続きまして生活になります。生活につきましては7社になります。

まず東京書籍につきましては生活科での活動・学びが家庭での生活に活かされるものとなっています。

続いて大日本図書ですけれども、学びの自己評価を気持ちマークという言葉ではなくてマークで行うことで、入学当初の児童でも簡単に振り返りができるように工夫をされております。

続きまして学校図書ですけれども、学校図書は五感を使った学習活動が充実をしているということです。

続きまして教育出版ですけれども、児童の思考を広げ深める「もしも」というページと、海外の動物や昆虫そういったものを多様に扱っているところが特徴となっているということです。

続きまして光村図書ですけれども、描き下ろしイラストというのがありまして、そちらについては、児童が楽しく学びが進められるように工夫をされているようです。

続きまして啓林館ですけれども、思考ツールが充実しているため、児童だけではなく経験の少ない教師にとっても、子どもたちが共同的に学ぶときに使いやすい教科書であろうかということです。

それから信州教育出版社につきましては、見本がございませんでしたので、研究ができておりません。

以上、生活科7種から特に優れているとされたのは、啓林館になります。先ほどの説明に加えて、幼児期の学びや育ちから、3年生以降の接続までの繋がりを大切にしていることや、文字で表現をしたりする活動を特に大切にしているというところが感じられるということです。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

どれも本当に興味関心を大切に繋げる構成をされてるなというふうに思いました。個人的には啓林館がいいかなと思ったのですが、絵で紹介というのがあって、写真で紹介というのがあって、図や言葉で表現する学習の良さ、それから絵や写真を活用した学習活動の良さそれぞれが使えるので、それぞれの良さが出るような教科書の作りになっていたんじゃないかなというふうに思います。これは、先生にとってもありがたい教科書だなというふうに思いました。

○和田委員

私も低学年の子どもがいますが、最初に手に取る生活科の教科書はこのサイズが良いなと思いました。ここにも書かれていますが、他の教科に比べて持つて出ること多いのではないかと思いますので、そういった意味では、サイズも小さく軽いので、持ち運びしやすそうだなと感じました。

また、同じくここにも書かれていますが、全体的な色使いですとか、イラストに優しい色が使われていて、とても見やすいなというふうに感じました。ですので、私は啓林館の教科書がいいかなというふうに思います。

○常本委員

思考ツールをよく使っているのは啓林館ですね。結構色々なところに出てきて、やはりあれは情報を整理するにはとても良いということで、私自身も実践してきました。ですから、それを小学校のころから、情報を整理するとか、そういう訓練をするのはとても大事なことかなと思って見させて頂きました。そういった観点で、僕もやはり啓林館さんがいいのかなというふうに思いました。以上です。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

私もいわゆる見方とか考え方を育むということとか、日常の生活経験とうまく繋ぐということとか、そのあたりがうまく構成されてるなという印象で啓林館の教科書を見ました。

それではこれについてお諮りしてよろしいですか。それでは生活については真庭市教育委員会としては、啓林館の選定ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【音楽】

○学校教育課 松岡参事

続いて、音楽になります。音楽については2社になります。

まず、教育出版についてです。こちらについては、五線譜が2年生の早い段階で取り入れられるなど、導入は丁寧ではありますが、内容がやや高度なものとなっています。音楽的要素のレベルが少し高く、音楽が苦手な児童においては更なる手立てが必要になるのではないかなと思います。

続いて教育芸術社ですが、音楽の基礎ともいえる拍、それからリズムについて系統性を持ち、指導できるよう工夫されています。五線譜への移行も無理がなく、音楽が苦手な児童への配慮がなされているということです。

音楽は2社2種ですけれども、特に優れているとされているのが教育芸術社になります。先に述べたことに加え、スモールステップで音楽が苦手な子でも楽しめる工夫がなされている点が優れているというふうに報告を受けています。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

音楽は少し学び方が他の教科と違っているような感じがしました。

教育芸術社は、「見つける・考える・歌う」という学習の流れになっていて、他の教科のような学び方に近づけているなという感じがします。

それから、音楽こそデジタルコンテンツを活かしやすい教科かなと思うのですが、おそらく著作権の関係で、進まない部分もあるのかなと思います。その中でも、デジタルコンテンツ活用では教育芸術社のほうが良かったかなというふうに思います。以上です。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。その他の委員の皆さんいかがでしょうか。

教育芸術社さんは鑑賞なんかも大事にされてるなという印象が、私はありま

した。その他よろしいでしょうか。

それではこれについてお諮りしてよろしいですか。それでは音楽については真庭市教育委員会としては、教育芸術社の選定ということでもよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【図画工作】

○学校教育課 松岡参事

続いて、図画工作になりますこちらも2社になります。

まず開隆堂についてです。学習の目当てが3観点で示されており、重点となる目当ては強調されていてわかりやすい表記となっているということです。

続いて日本文教出版ですけれども、全ての題材に鑑賞が含まれており、巻末には「友達と作品を見て話そう」のコーナーも配置されています。自分の作品についての思いを述べたり、友達と自分との発想や工夫の違いに気づいたりする活動が多くあり、児童同士が対話を通して、豊かな感性を育むとともに表現力の育成に繋がる活動が充実しているということです。

図画工作につきましては、特に優れているとされているのは、日本文教出版です。先に述べた通り、対話により感性や表現力を育むための工夫が優れているということです。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見ををお願いします。

○高谷委員

私はどちらの教科書も本当によくできているなという印象だったのですが、今総評をどちらも拝見して、「なるほど、こんなふうに使っているんだ。」ということがわかったと同時に、この研究をされた先生方は本当にすごいなというふうに思いました。ですので、この先生方が考えていただいた総評では日文ということですので、私もそちらの方がいいのではないかなというふうに思いました。以上です。

○徳山委員

昔は絵を描くぐらいでしたが、今は子どもたちの興味を持ちそうな題材を選んで、1人1人の子どもの良さを引き出すような単元・構成・題材選びというのを、どちらの教科書でもされているなと感じました。

日文は、最初のイメージ作りがすごく大事なのかなと、導入が大事なのかなと思うのですが、その導入のイメージ作りでは、デジタルコンテンツを使った開隆堂の方がうまく扱われているのではないかなというふうに感じました。

ただ日文さんは参考作品がすごくたくさんあるので、それを教師がうまく選んで児童にうまくイメージに繋げてあげれば、日文さんの方がうまく活用できるのかなという気がしましたので、私も日文さんでいいのかなというふうに思います。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。その他の委員の皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

今おっしゃったように、造形とか表現だけでなく、それをもとにした対話であるとか、あるいは次の活動への発展や表現・意欲、というような点をかなり

意識されて作られているのだろうなというのを感じました。

それではこれについてお諮りしてよろしいですか。それでは図画工作については真庭市教育委員会としては、日文の選定ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【家庭】

○学校教育課 松岡参事

続きまして家庭になります。こちらについては2社になります。

まず東京書籍についてですが、巻頭で学習する内容が系統的に示されており、生活を統合的に捉えて見通しを持って学習できるように工夫をされているということです。

続きまして開隆堂ですが、学習の流れが3ステップで構成されているので、児童の視点や思考の流れに沿って、基礎基本的な内容の習得から、発達段階に合わせてスモールステップで系統的に展開をされているということです。

家庭につきましては特に優れているとされたのが開隆堂です。先ほども述べましたが、基礎基本の習得のための活動がスモールステップで示されている点が優れているというふうに考えています。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

今説明でスモールステップになっていると言われていましたが、確かにそうなのですが、私はこれは教師がわかっていることであって、児童に見えるようにする必要はないのかなというふうに思います。かえってそのことで、児童が迷うというか、不要な情報になってしまわないかなと思いました。

それに対して東書の方は、目当てもすっきり1つで進められていると思います。私は、目当ては1つで、その他の開隆堂さんが示されているような部分は教師がきちんと把握して授業すればいいのかなというふうに思いました。

それからデジタルコンテンツはどちらもいいなと思いました。動画はまるで料理番組のようなコンテンツが出ていて楽しかったです。以上です。

○高谷委員

私も今徳山委員がおっしゃったように、パッと開いたときの構成が東書さんの方が、私にもわかりやすい構成だったように感じました。もちろんどちらもすごくよくできているなと思って拝見したのですが、どちらのイラストも今の時代をきちんと反映したステレオタイプではないイラストになっているのも良いなというふうに思いました。以上です。

○常本委員

僕も東書がいいなと思ったのですが、なぜかというポートフォリオの視点が入っているからです。私は実習や体験をした時に、できればインタビューをメモして写真を撮り、自分のノートとして残していくポートフォリオを作るのがいいかなと常々思っています。よく教師が枠を作り、これについて感想を書きなさいというようなことを中学高校でもやることがあるのですが、そうではなくて自分で作り上げていくポートフォリオというものができれば、良い記録として残っていくのかなと思うので、そういうポートフォリオを作る練習が小さい頃からできていれば、どんどん中学高校に繋がっていくのかなと

思いました。僕はそういう観点でこの東書がいいかなと思います。内容的にはどちらでもいいとは思いますが、その観点で気になったのでこちらがいいかなと思いました。以上です。

○和田委員

皆さんがおっしゃっていた感想と重なる部分もあるのですが、私自身も東書さんがいいかなと思います。東書さんの「⑤日本の伝統について…」に書かれている「MOTTAINAI」というところで、物を大切にする日本の良いところが紹介されているというところがとても興味を引かれました。そういったところの見やすさ等で私も東書の方がいいかと思いました。

もちろん内容はどちらもよくできていて、先ほどの動画についても、私達の時代にもあればこういうふうな料理がしやすかったらいいなと感じました。

ただ、東書の方がやや興味を惹かれた部分が多くありました。以上です。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。では皆さん同じ意見ですので、家庭については真庭市教育委員会としては、東書の選定ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いします。

【保健】

○学校教育課 松岡参事

続きまして保健になります。保健については6社になります。

まず東京書籍についてですが、1時間分が4ページに構成されるとともに、まとめる・生かすものが左ページに集約されていて、児童が学習しやすいものとなっているということです。

次に、大日本図書につきましては、単元扉というのがゲーム感覚で設定されており、児童の興味関心を引きやすいものとなっているということです。

続きまして、大修館につきましては、障害者スポーツやがんを経験した選手が紹介されており、障害や病気との共生や克服について考えることができているということです。

続きまして文教社ですが、「私の〇〇宣言」で自分たちの気づきを意見交換でき、さらに友達の意見も聞くことができるように工夫をされているということです。

続きまして光文書院につきましては、単元扉で漫画を用いたり、有名人を取り上げたりして、児童が興味関心を持つことができるよう工夫されているということです。

続きまして学研です。学習活動がページの上部に書かれており、常に課題を把握することができるようになっており、また、課題を把握しながら学習を進めることができるということです。

この6種6社から、特に優れているとされていたのは東京書籍になります。先ほどの説明に加えて、児童の興味関心を高めるための学習資料がデジタルコンテンツを中心として充実をしているということです。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○和田委員

失礼します。どの教科書もですが、私の年代から今の保健の内容はどのよう

に変化しているのだろうと新鮮な気持ちで手に取らせていただきました。昨今の本当に激しい時代の変化に合わせて、「命を大切にする」というところで、今保健の教科は本当に大事な必要な教科だと思っていますので、興味深く拝見させていただきました。その中で、どの教科書も性教育についての部分がそんなに多くないんだなと感じまして、これはもっと深く、まだ小学校の年代のときに恥ずかしくないという思いで、素直に受け入れられるような内容がもう少しあっていいのではないだろうかというふうに全体を通して思いました。

私はその中でも女性とか男性とかの体の変化について詳しく書かれていたのが光文さんだったかなというような気がしています。より深くそういった観点でも学習ができたらいいなというふうに思っております。以上です。

○徳山委員

探究的な学習になるように、本当に工夫されているなという気がしました。デジタルコンテンツのことを先ほど説明してくださったのですが、多くは導入が主にデータコンテンツの活用になっていたように思います。東書については、デジタルコンテンツを色んな単元の導入段階であったり、調べ学習の段階であったり、まとめ学習の段階であったり、色々な段階によって効果的だと思われるところで使われているなというふうに思いました。コンテンツもなかなか工夫されているなというふうに思いましたので、東書がいいのかなというふうに思いました。以上です。

○常本委員

子どもの発達段階に応じた内容の指導というのが、やはり小学校から中学校のあたりが特に変化が激しいので、そのときに上手くあう教科書であることが大事なのかなと思ってみました。どちらも出来はいいと思いますが、そういった意味では、東京書籍さんの方が手慣れているというか、上手にされているなと思いました。

○高谷委員

私も和田委員のおっしゃったように、保健はとても大事な教科だと思います。もちろんどちらの教科書もよくできているのですが、教科の重要性に反して、教科書が薄いなという印象を受けました。今ここで論じることではないのかもしれませんが、もっと保健の時間が増えていったらいいなと思います。これから一番大事になってくる教科ではないかなと思いながら、私も拝見させていただきました。私がちょっとデジタルコンテンツまで見られていなかったので、教科書だけを読んだ限りですと、私も光文さんの方がしっかり情報量が多いように感じました。ただ、学校の先生方にデジタルコンテンツもしっかり活用していただけるようであれば東書さんでもいいのかなというふうに今お話を伺って思いました。以上です。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。意見が割れているのですけれども、委員さんがおっしゃるように、多様性でありますとか、あるいは共生社会ということが大きな課題となっている中で、おそらくこの教科学習の中だけで全てが完結するという事は難しいだろうなということは思っています。日常生活をどう繋げるのか、他の教科とどう繋げるのか、あるいは探究的な学習とどう繋げるのか、そういった繋がりも意識した上で、限られた時間の中で主教材として活用する教科用の図書をどう考えるかということだと思っています。

皆さん意見は出ていますが、どうでしょうか。選定委員会の方では東書ということでした。真庭市教育委員会としては、デジタルコンテンツの活用というようなことも併せて付記しながら東書の選定というような方向でも差し支えはないでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは、それも意見として加えた上で、協議会の方に報告をさせていただこうと思います。続いて事務局からお願いします。

【外国語】

○学校教育課 松岡参事

それでは続きまして、英語になります。英語につきましては6社になります。まず東京書籍につきまして、状況や場面に適した英語表現ができるように、それぞれキャラクターが設定されており、ユニットの導入では、短いアニメーションでゴールとなる言語活動を、児童がイメージしやすいように工夫をされているということです。

続きまして、開隆堂です。ゲームなど学習活動に変化を持たせ、児童の集中力を高めたり、意欲づけをしたりすることに効果的な構成になっています。

続いて三省堂ですが、スモールステップで簡単なものから難しいものへ児童が無理なくレベルアップできる構成になっています。

続きまして教育出版ですが、単語クイズやユニットごとの振り返りにより、学習の定着を確認できるようになっています。

次に光村図書ですが、ホップステップジャンプにそれぞれの目当てが示されており見通しを持って活動に取り組める構成となっています。

次に啓林館ですが、児童が意欲的に学習できるようにステップを段階的に上げており、学習内容の定着を図れるように構成をされています。

以上6社になりますがその中で特に優れているとされたものが、啓林館です。内容がスモールステップで示されており、英語が苦手な児童でも取り組みやすい工夫がされているということと、デジタルコンテンツも児童の実態に合った内容理解を促す工夫がなされているという事です。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

私は啓林館の教科書を見た時に、中学校の英語の教科書を思い出して、少し暗いイメージだったのですが、言われてみると確かにスモールステップで作られていたんだなというふうに思いました。

私は東書の、子どもが興味を持ってやっていけるような構成もいいなと思います。ただ、私はスモールステップの部分に気がついていなかったもので、今はどちらもいいなと思います。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。その他の委員の皆さんいかがでしょうか。特段ありませんか。幅広い子どもたちの状況に対応していくというのは、おそらくこの地域の課題でもあると思っています。その辺りにどう配慮していくのかということが1つ前提としてあります。もちろん今徳山委員がおっしゃったように、学びをうまく構成していくという点では、私も東書の教科書がすごく魅力的だなと思いました。

選定委員会の方では啓林館ということですが、皆さんいかがでしょうか。選定委員会あるいは現場の声等も反映しながら、啓林館もそういうスモールステップでの配慮ということでありましたが、英語については真庭市教育委員会としては、啓林館の選定という方向でよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、それではこれを協議会の方に報告します。続いて事務局からお願いし

ます。

【道徳】

○学校教育課 松岡参事

続いて、道徳になります。道徳も6社になります。

まず、東京書籍につきましては、デジタルコンテンツが非常に充実しており、他の教科や生活で学ぶこととリンクをしております。また円グラフによる心情バロメーターで児童の気持ちをその場で表現したりすることもできる工夫がされております。

続いて教育出版ですが、各学年で特に大切にしているテーマが明確に設定をされているということが工夫されているところです。

続きまして光村図書ですが、多面的多角的に考えるための思考ツール、そういったものが示されており、子どもたちが話し合う時の手助けになるということです。

続いて日本文教出版ですが、リアリティのある題材が多く、話し合いの仕方が写真で示されるなど工夫をされているということです。さらに別冊の道徳ノートというものがついているということも特徴的であるということです。

続いて光文書院についてですが、巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」というところで、自分の考えを広げたり深めたりするというのが紹介されているところが特徴的です。

続いて学研教育です。「深めよう」では、道徳的価値について、より多面的多角的に考えるための問いや活動が示されているということです。

以上6種ですが、道徳につきましては特に優れているとされたのは、日本文教出版です。先ほど説明をさせていただいた通り、題材ももちろんですが、別冊道徳ノートについてもこれまでのものと改善をされており、発問が固定されていないということで、それぞれの思いを絵や文章でまとめて考えを整理することができるよう工夫がされているということです。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありました。何かご質問等ありますか。

今までも確認すればよかったのですが、ちなみに現在採択及び活用してる教科書はどこですか。

○学校教育課 松岡参事

日本文教出版です。

○三ツ教育長

ということのようです。では、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

私は東書がすごく良いなと思いました。特にデジタルコンテンツが本当に充実しているので、「朗読、スライド、映像」の3セットになっていて（映像のないところもありますが）、これはもう本当によく作られているなと思いながら見させて頂きました。その中でも、「辻井伸行さん」の話ですが、著作権がよく取れたなと思うぐらい、良い具合作ってあったと思います。幼い頃の様子から動画で載っていたのでいいなと思いました。

日文と東書、どちらも題材や学び方は工夫されていると思いますし、私は日文もすごく良いなとは思いました。ただ、東書のデジタルコンテンツは、これ1つで家に持って帰って1人でも学習できますし、おうちの方と一緒に楽しみながら感動できるのではないかなというふうに思いました。

そして、先生が拙い読み方をするよりも、これをぱっと押すだけで上手に映像を見ながら学習できるというのは素晴らしいなというふうに思いました。以上です。

○常本委員

前回の選定の際も「道徳ノートがあった方が、とても学習しやすい」というようなことを言われていたと記憶しているのですが、やはりこの「道徳ノート」というのは指導上、外せないものなのではないでしょうか。それをお聞きしたいです。

○学校教育課 松岡参事

選定委員の方では、そのように意見としては出ておりますが、必ずしも外せないというものではありません。

○和田委員

この場でお伝えすることではないのかもしれませんが、日文さんの「道徳ノートを持ち帰り、家庭との連携が取りやすい。」と書いてありますが、うちの子はまだ持って帰ったことがないです。おそらく低学年は荷物が多くなってしまいうことに配慮してくださっているのだと思いますが、「持ち帰って家庭で何か一緒に…」ということはこれまでありませんでした。もちろん授業では参観日に一緒に学ぶ道徳の時間があつたのですけれども、もしかしたら学校によって扱いが異なるのかなと、今初めて知ったので少し気になりました。教科書選定とは違うことですが、情報としてお話しさせていただきました。

○三ツ教育長

ありがとうございます。ちなみに、今のご意見は、どこの教科書が良いということではないですか。

○和田委員

はい。

○徳山委員

私は、QRコードを子どもに持ち帰らせて、家で一緒に学習できるということではないかなと思いました。

それから東書は、道徳ノートではないですけど、デジタルで何かあったような気がします。ですから、そこを印刷して使用すればいいのかなというような気がしました。

また、日文明もすごく良かったのは、1年生のところだったと思うのですが、「素敵な自分になろうというのが道徳の勉強だ」という表現がありました。これはとても良い表現だなと思いました。今まで使ったことがなかったなと思います。東書にはそういう表現はなかったので、道徳の真髓かなと思っていいなと思いました。

デジタルコンテンツは東書、日文明は「もっと素敵な自分になろう」というのが良いと思います。どちらが良いかは正直難しいです。

○高谷委員

私も、これは本当にどちらがいいのか選べなかったです。ですので、ただの感想なのですが、東書さんの見開きと最後のページのイラストが、すごく好きでした。先ほどの外国語もそうでしたが、東書さんは「今っぽい感じ」を取り入れるのがすごくお上手なんだなというのを全体を通して感じました。以上です。

○三ツ教育長

ありがとうございます。今のご意見も、どちらの教科書がどうだということではなく、感想ということでよろしいですか。

○高谷委員

はい。

○三ツ教育長

私自身も正直いろいろ思うこともあります。例えば「別冊ノートについて、実際にどの程度大事なのだろうか」等と考えはしますが、おそらく現場の声と

してこういうことが掲載されているのだろうなと思うと、それも尊重しなければいけないのかなとも感じます。ただ、「考え議論する道徳」というときに、本当にその文字言語で表現することがどれだけやれるのかということも思ったりして、正直悩ましいなと思いながら見たというのが実情です。私も、どちらの教科書がどうこうという話ではないです。

どうでしょうか。今、東書という意見と、日文という意見があるのですが、本日選定しないといけませんので、挙手制にしてもよろしいですか。

○全員

はい。

《挙手制：東書多数》

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。それでは道徳については真庭市教育委員会としては、東書の選定ということで、協議会の方に報告します。

では、事務局から結果の確認をお願いします。

○学校教育課 松岡参事

それでは、真庭市教育委員会としての選定教科書を確認させていただきます。

国 語：光村図書出版

書 写：光村図書出版

社 会：日本文教出版社

地 図：帝国書院

算 数：東京書籍

理 科：東京書籍

生 活：啓林館

音 楽：教育芸術社

図画工作：日本文教出版

家 庭：東京書籍

保 健：東京書籍

外国語：啓林館

道 徳：東京書籍

以上となりますが、よろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。それでは今後の採択事務について事務局から説明をお願いします。

○学校教育課 松岡参事

それでは、今後の採択事務についてお伝えをさせていただきます。8月2日水曜日10時から、第3回採択協議会が開催されます。本日、真庭市で1種選定をしていただいた結果もそこで報告をさせていただきます。そして、他の教育委員会での1種選定の内容もそれぞれ報告をされます。そして、その中で津山地区採択協議会として1種選定がなされます。その後、各市町村教育委員会を開催し、正式に1種を採択するということとなります。真庭市では、8月24日に教育委員会を予定していただいておりますので、その際に採択をお願いいたします。以上です。

○三ツ教育長

はい、事務局から説明がありましたが、委員の皆さんから何かお尋ねがありますか。よろしいですか。

それでは、今説明のあった日程で進めさせていただきますが、冒頭に申し上

げましたように、共同採択という形になっています。したがって、ここでの1種選定を持って行って、10市町村で議論をした後、また正式に採択の議案として真庭市教育委員会に諮らせていただくという形になります。お知りおきください。

それでは、以上で教科書採択に関する協議を終了いたします。長時間になりましたが、ありがとうございました。

続いて日程第6その他です。委員の皆さんから何かありますか。それでは事務局より、日程調整をお願いします。

○武村教育次長

- ・第9回教育委員会 8月24日(木) 9:30
- ・第10回教育委員会 9月28日(木) 9:30

《地域開催：中央食育センター》

○三ツ教育長

その他事務局より何かありますか。それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

《終了後、教科書説明資料回収》

(11時35分 閉会)